

# 宮崎牛

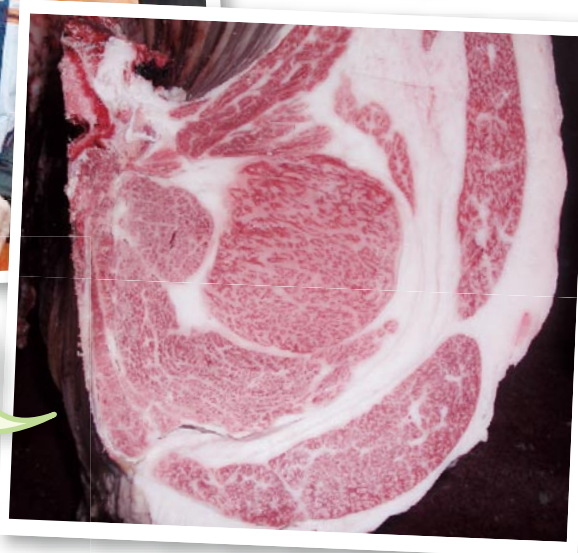
2010年3月号 No.55



東国原知事より、宮崎牛を始めとする宮崎の特産品が贈呈されました。

(1月31日 読売巨人軍 歓迎パレード)

JA 宮崎経済連系統和牛枝肉共励会で(有)谷口畜産がグランドチャンピオンに輝きました。



## 目次 (第55号)

1	第10回全国和牛能力共進会 もう一度奪え 日本一	From 全和県支部	1
2	JA宮崎経済連系統和牛枝肉共励会を開催	From 経済連	3
3	香港・マカオにおける「宮崎県産牛肉」の販売状況の紹介	From 県畜産課	4
4	ネッカミルク	From 経済連	6
5	宮崎県北部山間地における肉用牛繁殖生産性向上の取り組みについて	From 県東臼杵農林振興局	7
6	肉用牛繁殖経営支援事業(新規)	From 畜産協会	9
7	肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新規)	From 畜産協会	10
8	肉用牛肥育経営対策事業等について	From 畜産協会	11
9	新規種雄牛紹介	From 県家畜改良事業団	12

情報誌「宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●全国和牛登録協会宮崎県支部 ●宮崎県畜産協会

<http://miyazaki.lin.gr.jp/>





「伝えよう 熱い想いを 示そう 宮崎牛の力を もう一度奪え 日本一」この言葉には、『宮崎牛』が第10回全国和牛能力共進会で『日本一』になるため、宮崎県内の繁殖農家、肥育農家をはじめ、JA、畜連、行政、関係機関、全ての関係各位が大同団結して挑もうという強い想いが込められています。

第10回全国和牛能力共進会は、「和牛維新! 地域で伸ばそう生産力 築こう豊かな食文化」を開催テーマに平成24年10月25日から10月29日までの5日間に亘って長崎県で開催されます。和牛に求められる経済能力は時代とともに変化し、その都度、時代の要求に見事に対応してきましたが、食料、資源、牛肉生産を巡る厳しい国際競争のなかで臨む今回の第10回全共には、和牛に備わった優れた産肉能力を更に磨くとともに、生産効率を向上させ、安定した和牛経営に寄与するという長年の課題があります。こうした課題に十分に答え得るということを証明し、ひいては和牛改良組合をはじめとした生産・改良基盤の安定と強化につなげることが、今回の全共に課せられた使命であります。

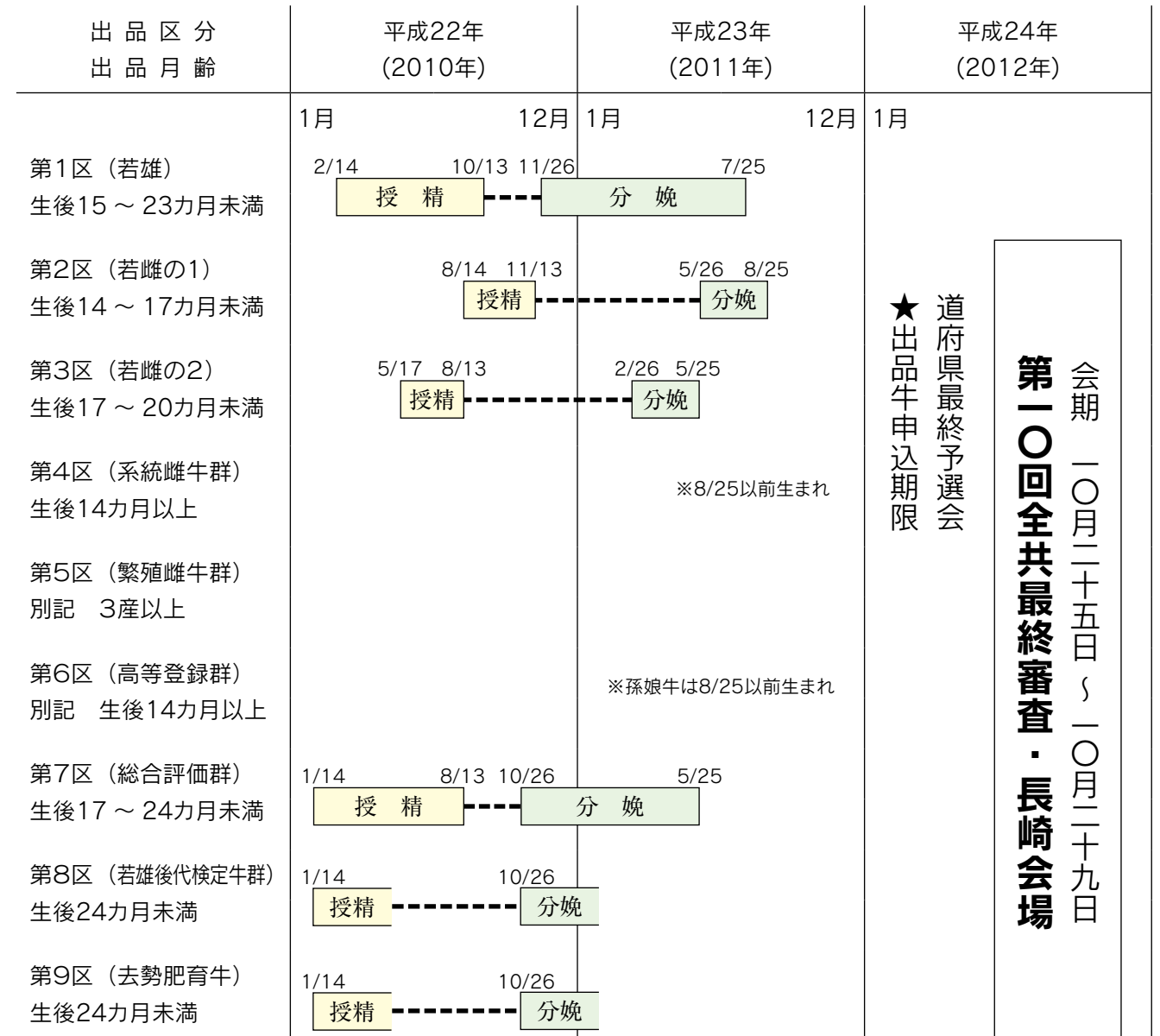
この全共という大きな舞台で宮崎牛の力を遺憾なく発揮するためには、交配、飼養管理、選抜、保留など全ての過程において最大限の準備が必要です。

ここに、第10回全国和牛能力共進会の出品区分と出品牛造成スケジュールを紹介いたします。

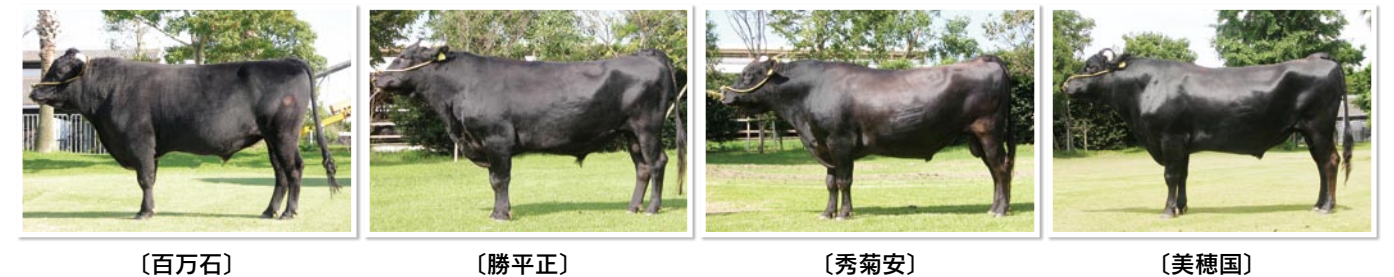
出品の区分	生後月齢	〔 生年月日の範囲 〕	備考
第1区 (若雄)	15 ~ 23カ月未満	〔平成22年11月26日~平成23年7月25日〕	
第2区 (若雌の1)	14 ~ 17カ月未満	〔平成23年 5月26日~平成23年 8月25日〕	
第3区 (若雌の2)	17 ~ 20カ月未満	〔平成23年 2月26日~平成23年 5月25日〕	
第4区 (系統雌牛群)	14カ月以上	〔平成23年 8月25日以前〕	
第5区 (繁殖雌牛群)	別記 (3産以上の産歴をもつもの)		
第6区 (高等登録群)	14カ月以上	〔平成23年 8月25日以前〕	
第7区 (総合評価群)	出品牛の父 (宮崎県 : 百万石・勝平正・秀菊安・美穂国)		
種牛群	17 ~ 24カ月未満	〔平成22年10月26日~平成23年 5月25日〕	※1)
肉牛群	24カ月未満	〔平成22年10月26日以降〕	※1)
第8区 (若雄後代検定牛群)	出品牛の父 (宮崎県 : 天契藤・茂勝守・寿桜岬)		
	24カ月未満	〔平成22年10月26日以降〕	※2)
第9区 (去勢肥育牛)	出品牛の父 (宮崎県 : 第7区・8区の交配種雄牛)		
	24カ月未満	〔平成22年10月26日以降〕	※3)

※1) 出品牛の父牛は、平成12年10月1日以降生まれのもの。  
 ※2) 出品牛の父牛は、平成17年10月1日以降生まれのもの。  
 ※3) 出品牛の父牛は、平成12年10月1日以降生まれのもの。

【出品牛造成スケジュール】



〔 第7区 (総合評価群) 交配種雄牛 〕



イチロー選手の言葉より

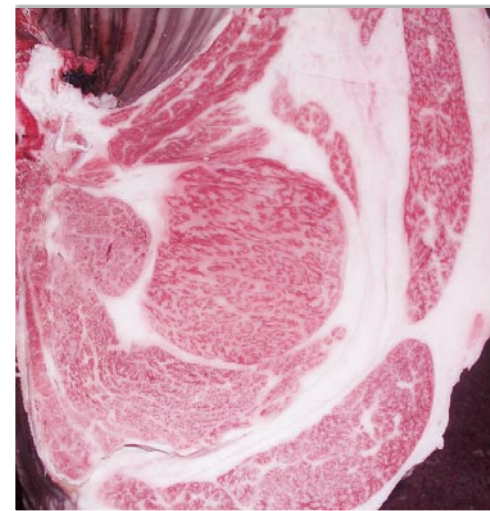
『準備に集中 それがすべて』



# JA宮崎経済連系統和牛枝肉共励会を開催



グランドチャンピオンを受賞した谷口畜産



グランドチャンピオンに輝いた枝肉

平成22年2月23日（火）、JA宮崎経済連系統和牛枝肉共励会が（株）ミヤチク高崎工場で開催されました。

県内より選抜された70頭の出品の中から、JAはまゆうの谷口畜産がグランドチャンピオンに輝き、その後のセリでは、1キロ当たり6,100円（313万3千円）と高値で取引されました。

また、2席にはJA宮崎中央の日高庄三さんが入賞されました。今回から系統利用農家を中心に、肥育技術の研鑽はもとより、宮崎牛づくりの画一化を図ることを重視しての開催となりました。

また、牛肉の旨味を追求することを目的として出品牛全頭のオレイン酸含有の測定を実施し、共励会当日には宮崎大学の講師を招いて講習会を行いました。

入賞	農協名	出荷者名	性別	血統			生体体重 (kg)	DG	枝肉重量 (kg)	枝肉歩留 (%)	歩留等級				BMS (No)	等級	単価 (円/kg)
				父	母の父	母の祖父					ロース芯 (cm <sup>2</sup> )	バラ厚 (cm)	皮下脂肪 (cm)	推定歩留 (%)			
金賞	はまゆう	谷口畜産	去	秀菊安	隆美	第20平茂	784	0.71	513.7	65.5	84	8.7	1.6	78.3	12	A 5	6,100
銀賞	宮崎中央	日高庄三	去	忠富士	福桜	大将	732	0.81	482.6	65.9	73	7.3	2.3	75.6	12	A 5	4,510
銅賞	都城	清水裕一郎	去	福之国	安平	隆桜	810	0.77	516.6	63.8	85	8.3	1.6	78.1	11	A 5	4,000
優秀1	宮崎中央	高岡肥育センター	去	忠富士	安平	隆桜	794	0.84	532.1	67.0	93	8.2	2.9	77.8	11	A 5	3,850
優秀2	はまゆう	藤元次夫	去	福之国	上茂福	安平	750	0.71	500.1	66.7	76	8.3	1.3	77.5	11	A 5	3,600

# 香港・マカオにおける「宮崎県産牛肉」の販売状況の紹介

現在、国をあげて農畜産物の輸出促進に取り組まれており、全国各県が躍起になって輸出への取組みを行っています。

宮崎県では生産者が丹精込めて生産した和牛を、最も厳しい衛生基準をクリアしている（株）ミヤチクの工場で処理しているため、最高レベルの「宮崎県産牛肉」を国内はもとより、海外の皆様へも提供することが可能です。

そのような中、香港とマカオにおける「宮崎県産牛肉」の販売については、「より良き宮崎牛づくり対策協議会」の食肉卸指定店を通じて、現地の荷受会社である現地販売会社が主にレストラン等へ販売しています。

香港への宮崎県産牛肉の輸出は、BSE発生後、平成19年10月から再開され、平成21年4月～2月までの輸出量は約20t（対前年比110%）となっています。

## ◎ 香港

### 中華レストラン「Cuisine Cuisine (IFC店)」



店内



中華メニュー表 ※全てのメニューに宮崎牛を利用



地下鉄構内での広告設置状況



ビクトリアピークから観る香港の街並み



また、マカオについても、(株)ミヤチクが日本で最初に輸出認定を受け、平成21年10月から約3t輸出されており、今後も輸出が躍進していくことが期待されています。

現地においても、第9回全国和牛能力共進会で日本一となった「宮崎牛」であることが高く評価され、輸出量が伸びる大きな要因となっています。

県としましても、関係機関と連携しながら、そのセールスポイントで他県には真似できない「日本一」を旗印に、積極的な輸出促進を支援して行きたいと考えています。

そのためにも次回の第10回全国和牛能力共進会（平成24年長崎県開催）において、連覇を達成することが悲願です。

(宮崎県農政水産部畜産課)

## ◎ マカオ

「江戸日本料理」ベネチアン店 ※宮崎牛指定レストラン



ザ・ベネチアンホテル外観



店頭



宮崎牛指定店認定証（奥）とメニュー表（手前）



鉄板焼きコーナー  
※のぼりやポスターが設置

## ネッカミルク

### ■ 特 長 ■

- ★子牛の腸にやさしいネッカリッチ®を配合しました。ネッカリッチ®に含まれる木酢酸液が、乳酸菌を増やします。
- ★フラクトオリゴ糖やささまざまな消化酵素なども配合したバランスのよい代用乳です。
- ★微粉タイプのネッカリッチ®を配合しているため自動ほ乳機でもお使いいただけます。

※ネッカリッチ®とは  
椴、椎、桜などの常緑広葉樹の樹皮を熱処理して抽出された精製木酢液（約280種類の有機酸・有機化合物や10種以上のミネラルを含みます）を炭素粉末に吸着させた混合飼料です。

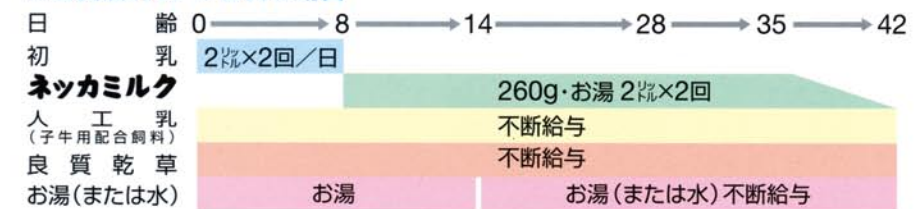


### ■ 保証成分 ■

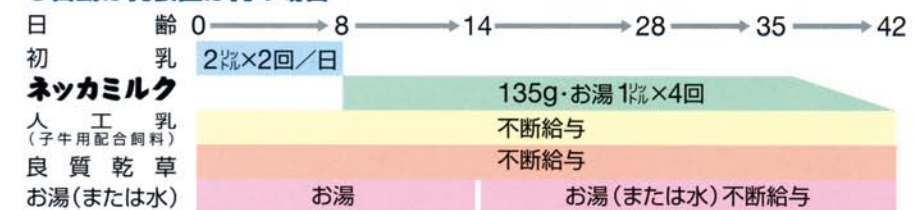
粗たん白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カルシウム	リン	TDN
24.0%以上	18.5%以上	1.0%以下	10.0%以下	0.75%以上	0.60%以上	104.0%以上

### ■ 給与例 ■

#### ◎ほ乳瓶、バケツほ乳の場合



#### ◎自動ほ乳装置ほ乳の場合



#### ◎給与のポイント

- ①給与量は子牛の状態に応じて加減してください。
- ②溶かすお湯の温度は、40～45℃を目安にしてください。
- ③溶かすお湯の量は、**ネッカミルク**の6～8倍量としてください。
- ④離乳の目安は人工乳（子牛用配合飼料）を1日当たり700gを3日以上安定的に摂取する時期としてください。
- ⑤自動ほ乳機では、**ネッカミルク**のホッパーからの排出量を時々確認してください。

※ネッカリッチ®の効果を最大限に引き出すために、通常の代用乳より給与量を若干多めに設定しています。ご注意ください。

### ■ 使用上の注意点 ■

- 代用乳を溶かしたときに浮かぶ黒い粒は、ネッカリッチ®の炭素粉末です。そのまま飲ませて問題ありません。
- ネッカリッチ®は微粉タイプを使用していますが、炭素粉末は完全には溶解しません。自動ほ乳機などではつまるの原因となることもありますので定期的に清掃して下さい。お湯で洗浄すればきれいに落ちます。



溶解直後

洗浄後



# 宮崎県北部山間地における肉用牛繁殖生産性向上の取り組みについて



## (取り組みの背景)

宮崎県北部地域は県土の4割を占めていますが、山間地域では農用地面積が5%未満となっており、森林面積が9割を占めている肉用牛生産基盤としては厳しい状況にあります。

そのような中、県北地域での肉用牛生産農家は、厳しい条件の下で生産活動を展開していくために山林を造成して牛舎の設置を行ったり、貴重な田畑を活用しながら徐々に規模拡大を図るなどの努力により増頭を図り、今日の生産地へと発展してきました。

しかしながら、肉用牛を取り巻く情勢は年々厳しくなり、これまでのハード面による整備だけでは農家の所得向上という目標達成には困難な時代となっています。

そこで、地域の関係機関が一体となった肉用牛繁殖生産性向上への取組を紹介します。

この取組は、県北山間地域の課題を解決するために3つの地域（西臼杵・東臼杵北部・東臼杵南部）ごとのモデル農家を選定し、その関係機関で構成するプロジェクトチームによる巡回指導を行うもので、モデル農家の成績向上を図ることが目的となっています。



### 各地区モデル農家の設置

**西臼杵地区** ※現在3集団目(累計18戸)  
 モデル農家: 6戸(16~50頭規模) H14~3年づつ指導  
 巡回間隔: 月1回(各月の下旬)  
 関係機関: JA高千穂(事務局)・西臼杵普及センター・延岡家保・共済

**東臼杵北部地区** ※SAPが中心  
 モデル農家: 9戸(10~43頭規模) H17~継続中  
 巡回間隔: 月1回(各月の下旬)  
 関係機関: 東臼杵北部普及センター(事務局)・延岡家保(共済)・JA延岡

**東臼杵南部地区** ※SAPが中心  
 モデル農家: 7戸(14~60頭規模) H20~継続中  
 巡回間隔: 月1回(各月の中旬)  
 関係機関: 東臼杵南部普及センター(事務局)・延岡家保(共済)・JA日向

## (取り組み内容)

各関係機関は、巡回指導における役割分担を行っていますが、巡回指導の中心となっているのは各地域普及センターと延岡家畜保健衛生所です。また、その後の支援としてJAや人工授精師、共済組合などが一緒になって農家指導を行い、行政はその巡回内容や農家の課題、成果などをもとに事業支援や波及効果を狙ったPRを行います。

このように関係機関が巡回指導内容の情報を共有することで、対象のモデル農家に対しての指導方向の一貫性を狙った取り組みとなっています。

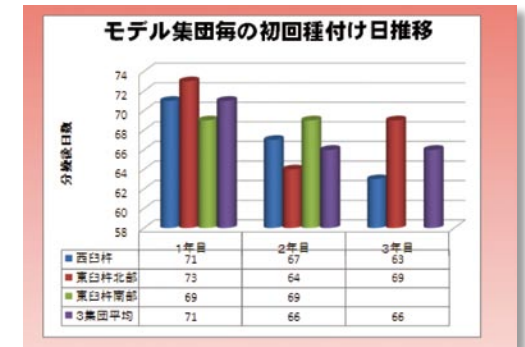
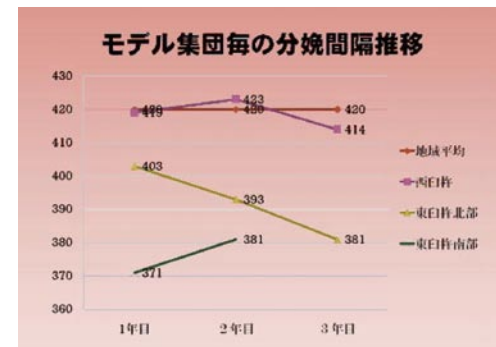


超音波診断機による繁殖検診 (家保)



技術員による子牛発育調査

## (取り組みの成果)



この活動を継続して行うことで、集団毎に成果がありました。特に繁殖成績については、3年後には平均分娩間隔が5日~22日間短縮することが出来、初回種付け日数についても巡回当初は、分娩後71日だったのが3年後には66日目へと短縮しました。これは定期的な巡回指導がモデル農家への刺激となり、生産者による観察能力が向上し、繁殖の生産性向上が図られた成果となっています。

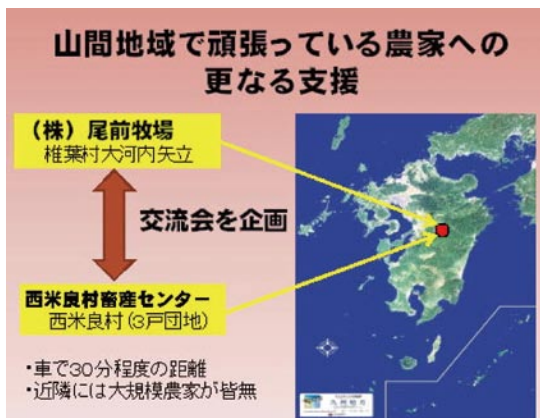
また、この成果や課題を各地域毎にモデル農家を交えての検討会を行っています。こうした成績検討会を行うことで、その農家に対しても技術員が一体となって支援を行っていることが伝わり、更に巡回指導に対する農家の意識が向上することが出来ました。

## (その他の支援)

その他の支援として、県北の中でも特に急峻な山間地域では、近隣の農家との距離が遠く、農家間の交流が難しい状況にあるため、東臼杵と児湯の農林振興局が主体となり2つの農場間交流会を開催しました。交流したのは、椎葉村矢立の(株)尾前牧場(200頭規模)と西米良村の畜産センター(3戸団地各35頭規模)。この2つの農場は、同じ山間地域にあり車で30分程度の比較的近い距離にありますが、JAや家畜市場が違うため日常では顔を合わせる事のない農場同士です。

この交流会では、お互いの農場を関係機関と一緒に見て回り、意見交換や課題への対応などを話し合ったりするなどを徹して交流を図ることが出来ました。

宮崎県としても、このような山間地域で肉用牛を支えている農家への技術指導や、情報発信などの役割が十分果たせるよう、関係機関と一体となり、今後とも支援していく予定です。(宮崎県東臼杵農林振興局 畜産担当)





# 肉用牛繁殖経営支援事業（新規）

## 1 事業の目的

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いこと資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有している。

このため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補てんすることにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る。

## 2 事業の内容

肉用子牛の四半期毎の平均売買価格が発動基準（家族労働費の8割を補償するものとして設定）を下回った場合、当該四半期に販売又は自家保留された肉用子牛を対象として、発動基準を下回った額の3/4を交付する。

①対象品種：黒毛和種、褐毛和種、その他の肉専用種

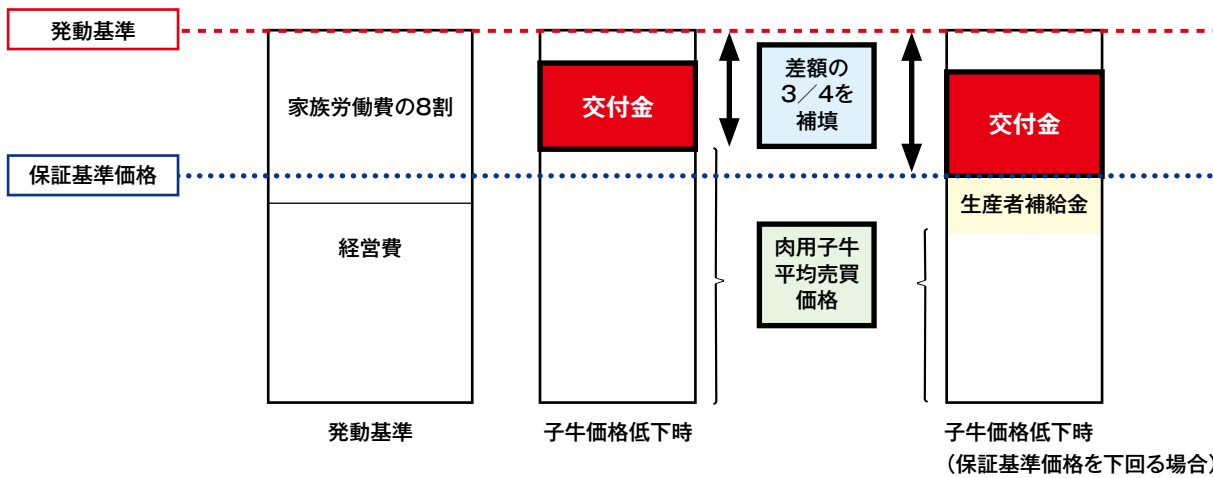
②発動基準：

品 種	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種
発動基準	38万円	35万円	25万円

③交付金単価：発動基準と平均売買価格（ただし、平均売買価格が保証基準価格を下回る場合は保証基準価格）の差額の3/4

④対象子牛：肉用子牛生産者補給金制度の契約肉用子牛

⑤事業実施期間：平成22～24年度（3年間）



3 事業実施主体 指定協会（都道府県肉用子牛価格安定基金協会）、民間団体

4 所要額（補助率） 14,243百万円（定額）

# 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新規）

## － 新マルキンの創設 －

## 1 事業の目的

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者の拠出と国の助成により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補てんすることにより、肉用牛肥育経営の安定を図る。

## 2 事業の内容

四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益(全国平均)が生産費(全国平均)を下回った場合に、肥育牛生産者に補てん金を交付する。

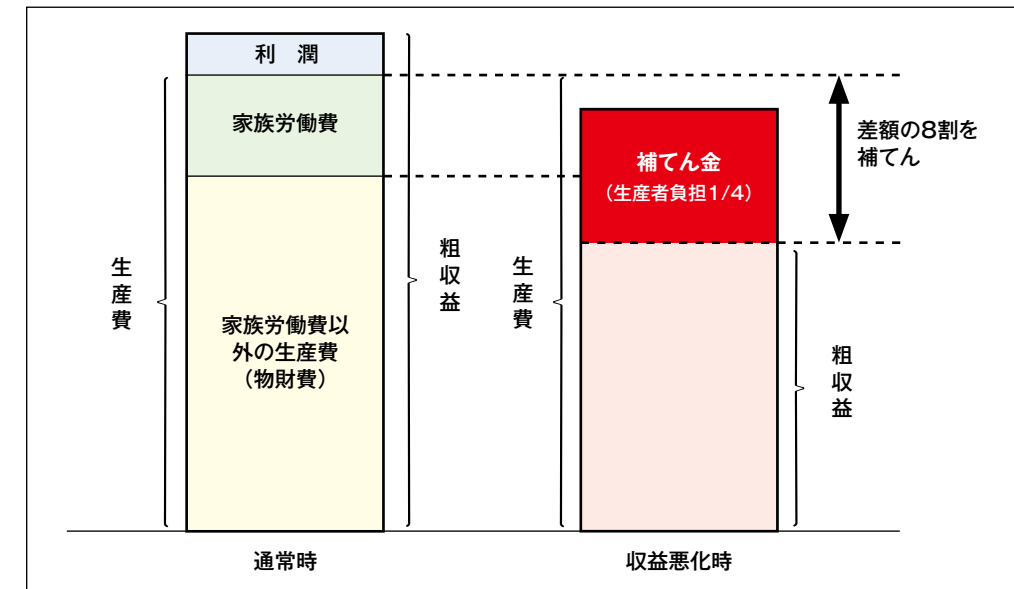
①拠出割合 生産者：国=1：3

②事業実施期間 平成22～24年度（3年間）

③補てん割合 1頭当たりの生産費と粗収益との差額分の8割

④対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種の3区分

⑤対象者 肉用牛肥育経営者



3 事業実施主体 民間団体、都道府県域を範囲とする民法法人

4 所要額（補助率） 84,636百万円（定額、3/4以内）

## 肉用牛肥育経営対策事業等について

下表に示すように肉用牛肥育経営安定対策事業（現マルキン）、肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業（補完マルキン）、肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（ステップアップ奨励金）の実施期間は平成22年3月販売分まで、肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン）の実施期間は平成22年4月販売分からとなっておりますので、今一度ご確認をお願いします。

なお、平成22年1月から3月販売牛に対する補てん金等の交付は平成22年6月末を予定しておりますが、1回限りの交付となっており、追加等は一切認められませんので、JA等への販売報告を確実に行ってくださいますようお願いいたします。

事業区分	販売月（平成22年）			
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	以降四半期
マルキン事業	→			
補完マルキン事業	→			
ステップアップ奨励金	→			
新マルキン事業		←		→

平成21年度の補てん金単価は次のとおりとなっております。

### ① 肉用牛肥育経営安定対策事業（マルキン）

	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
肉専用種（地域算定値）	50,600	50,600	50,600	50,600	5月 公表予定
交雑種（全国算定値）	33,000	33,000	33,000	33,000	
乳用種（全国算定値）	22,700	22,700	22,700	22,700	

### ② 肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業（補完マルキン）

	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
肉専用種（全国算定値）	32,400	43,500	53,600	27,400	5月 公表予定
交雑種（全国算定値）	55,200	40,700	57,800	53,300	
乳用種（全国算定値）	11,800	14,700	27,900	19,500	

### ③ 合計（①と②の合計）

	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
肉専用種	83,000	94,100	104,200	78,000	5月 公表予定
交雑種	88,200	73,700	90,800	86,300	
乳用種	34,500	37,400	50,600	42,200	

## お願い!! 牛トレサへの速やか且つ確実な報告について

牛トレサへの転出報告がない場合には、いかなる理由があっても各事業の補てん金交付対象となりません。特に平成22年1月から3月の販売牛に対する補てん金の交付は1回限りとなっており、追加等は一切認められませんので、牛トレサへの報告を速やか且つ確実に行っていただきますようお願いいたします。

## 新規種雄牛紹介

### たぢからお 手力男号



生年月日／平成20年11月19日  
産地／西臼杵郡高千穂町  
生産者／江藤 誠一  
血統

雲仙丸 黒原3887 (84.1)	東平茂	第20平茂
		しのぶ
	第3こつな	康福3
ともみ 黒原1037825 (81.1)	安平	なつこ
		安福（宮崎）
	とみひで	きよふく
		糸秀
		ひさあき

直接検定成績	DG	365日補正体重	得点
	1.01kg/日	426.4kg	83.4

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	15.2	134.4cm	152.6cm	185cm	464kg

試験交配開始	現場後代検定開始	枝肉調査
平成22年4月	平成23年10月	平成25年6月～9月

### みさきたろう 岬太郎号



生年月日／平成20年12月16日  
産地／串間市  
生産者／森下 久則  
血統

福之国 黒原3491 (83.1)	北国7の8	第7糸桜
		きたぐに7
てるみ2の1 黒原1169431 (81.7)	ふみさかえ	福茂
		さかえ
	福桜（宮崎）	隆桜
てるみ2		きよふく
		安平
		てるみ1

直接検定成績	DG	365日補正体重	得点
	1.06kg/日	423.1kg	83.6

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	14.3	128.0cm	147.8cm	181cm	475kg

試験交配開始	現場後代検定開始	枝肉調査
平成22年5月	平成23年11月	平成25年7月～平成25年10月



# す え ふ く ま さ 寿恵福正号



生年月日／平成21年1月9日  
産 地／東諸県郡綾町  
生産者／小田 正広  
血 統

寿恵福 黒原3717 (83.4)	糸福 (大分) さだすえ7	第7糸桜
		第6ふくしげ
みく 黒原1243636 (81.4)	安 平	福鶴57
		さだすえ6
	みなみ	安福 (宮崎)
		きよふく
		大 将
		ひかり

直接検定 成績	DG	365日補正体重	得点
	1.17kg/日	444.4kg	81.5

測尺値	月齢	体高	体長	胸囲	体重
	13.7	130.0cm	150.0cm	178cm	456kg

試験交配開始	現場後代検定開始	枝肉調査
平成22年6月	平成23年12月	平成25年8月～平成25年11月

●今後の行事予定		登録日	子牛セリ市開催日
5月	1 土		
	2 日		
	3 月	憲法記念日	
	4 火	みどりの日	
	5 水	こどもの日	
6月	1 火	北諸県 高城・庄内	
	2 水	安久・五十市 梅北・姫城	
	3 木		
	4 金		
	5 土		
7月	1 木		
	2 金	高佐原	
	3 土	宮	
	4 日	東	
	5 月	豊島野白	
8月	1 日		
	2 月	えびの	
	3 火		
	4 水	小林	
	5 木	須木	